

# 京都四條南座

Kyoto Shijyou Minamiza

No. 03-054-2018作成

改修・保存  
その他

発注者	松竹株式会社	カテゴリー	A. 環境配慮デザイン	B. 省エネ・省CO <sub>2</sub> 技術	C. 各種制度活用	D. 評価技術/FB
設計・監理	株式会社 大林組 OBAYASHI CORPORATION	E. リニューアル	F. 長寿命化	G. 建物基本性能確保	H. 生産・施工との連携	
施工	株式会社 大林組	I. 周辺・地域への配慮	J. 生物多様性	K. その他		

## 歴史的意匠建築物の外観保存と内部意匠を復元した耐震改修の実現と付加価値の向上

はじめに

当建物は、1929年（昭和4年）竣工の歌舞伎発祥の地に建つ劇場である。重層する大きな破風に檜を冠した外観や、趣向を凝らした内装が特徴で、国登録有形文化財の登録と京都市歴史的意匠建築物の指定を受けている。1991年（平成3年）に内外装や設備を改修、今回が2度目の大改修となった。2016年（平成28年）11月に着工し、2018年9月（平成30年）に竣工した。



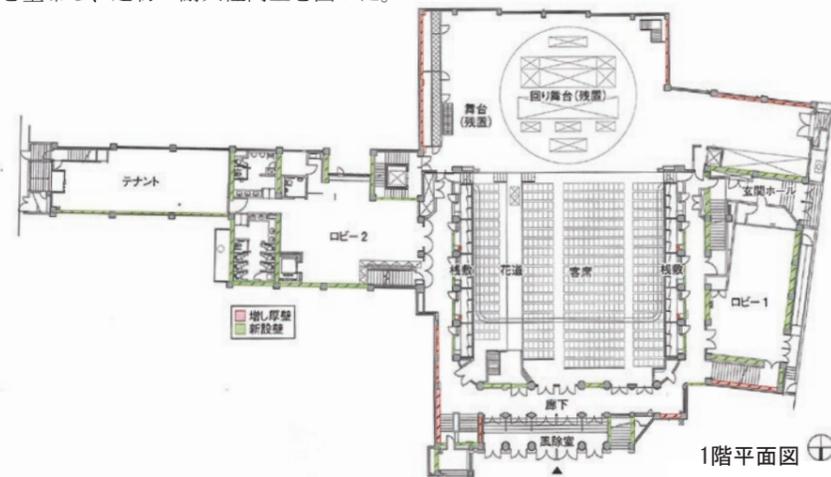
外観北面



外観西面

### 耐震改修の方針

外観は維持保存が必要なため内部のみの耐震壁補強を採用した。内部は建物中央に客席部吹抜けがあるため各ゾーンにバランスよく耐震壁を配置する計画とした。補強耐震壁と既存構造体との接合部の耐力を向上させるために大林組ウォータージェット目粗し接合法を採用し、耐震壁耐力向上を図った。また、既設コンクリートの鉄筋腐食を抑制するためにRC構造物用含浸系表面保護材を塗布し、建物の耐久性向上を図った。



1階平面図



ウォータージェット工法を用いた接合部



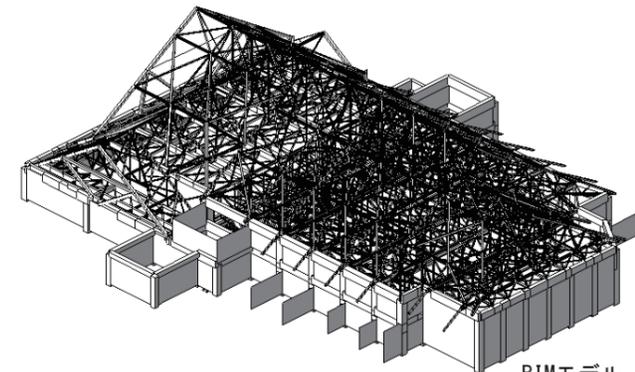
目粗し状況

### 建物データ

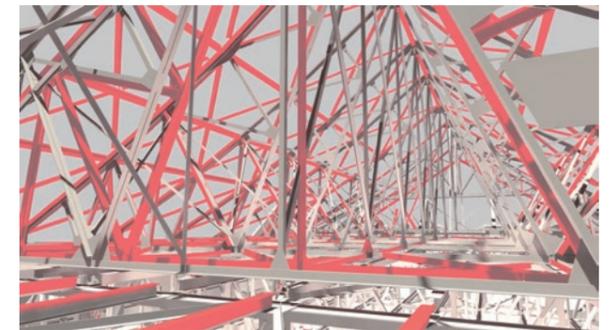
所在地	京都府京都市
竣工年	2018年（改修）
敷地面積	1,952.6㎡
延床面積	6,429.5㎡
構造	SRC造、S造
階数	地下1階、地上4階

### 大屋根の耐震補強

屋根を支える鉄骨骨組みは立体解析モデルで解析を行い、要求される耐震性能を満足するよう接合部補強、部材断面の増大、屋根面プレースの追加等の補強を行った。また、施工に際しては、現場にて点群データを取得し、点群で抽出したBIMモデルから図面を作成し部材を製作した。



BIMモデル

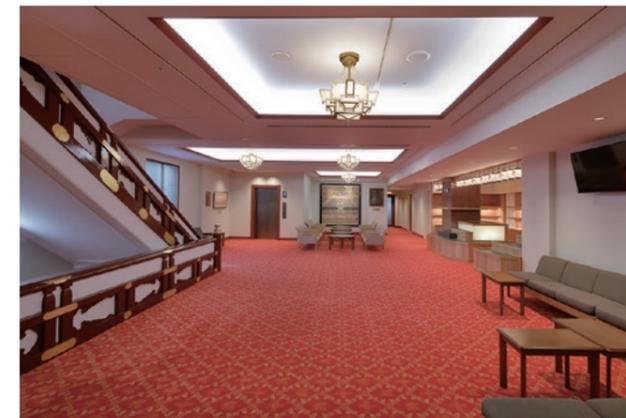


点群データとBIMモデル(赤色が補強部材)

### 付加価値の向上

耐震改修に伴い新たな付加価値の向上を行った。

1. 設備改修
2. バリアフリーに対応するお客様用エレベーターの新設
3. 外観ライトアップ照明の新設
4. 各種ご案内用のデジタルサイネージの導入
5. お客様用喫煙室の新設
6. 舞台機構、舞台照明、舞台音響設備の改修
7. 客室椅子の全面更新及び1階床フラット化システムの導入



ロビー



客席

### 設計担当者

建築：稲葉一秀／構造：嶋崎教志、田中栄次／設備：吉田裕紀／電気：森井規夫

### 主要な採用技術 (CASBEE準拠)

- Q2. 2. 耐用性・信頼性（耐震性の向上）
- Q3. 2. まちなみ・景観への配慮（地域性のある素材・歴史性の継承）
- LR2. 2. 非再生性資源の使用量削減（既存躯体の継続使用）